

研究課題名	血液透析患者における全身麻酔導入時の血行動態に対する残存腎機能の影響に関する 後ろ向き観察研究
研究の意義・ 目的	全身麻酔を始めるときには高頻度で低血圧になります。全身麻酔中の低血圧と周術期の合併症には関連があると考えられており、全身麻酔時の低血圧の発生を予測し速やかに対処することは重要です。 血液透析を受けている患者においてはその発生頻度と程度が大きいと報告されています。その中で、維持透析患者の中でも自尿（残存腎機能）がある透析患者は無い患者と比較して、残存腎機能が無い透析患者よりも少なく全身麻酔時の血圧変動が小さいと予想されます。そこで、本研究では既に全身麻酔下で手術を受けた維持透析患者の診療記録(カルテ)から種々のデータを抽出し、残存腎機能の有無で麻酔導入時の低血圧の程度に差があるかを調べます。
研究を行う 期間	研究機関の長の研究実施許可後～2025年3月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2007年5月～2022年3月に大阪公立大学医学部附属病院で、全身麻酔下で手術を受けた維持透析患者が対象となります。
協力をお願い したい内容と 研究に使わせ ていただく試 料・情報等の 項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、透析記録、麻酔記録、麻酔及び手術に関連する術後有害事象の有無】
試料・情報の 他機関への 提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行 っている共同 研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を 管理する責任 者	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 研究責任者 日野秀樹
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない 場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 日野 秀樹 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：HinoH@omu.ac.jp